

がんばろう！東北

お知らせ

平成23年 5月11日 18時00分
東北地方整備局 地震災害情報

東日本大震災発生後2ヶ月の交通状況について

- ・地震発生後、太平洋側を通過する路線では地震前に比べ交通量が大幅に減少しておりましたが、国道6号や被災地周辺の国道45号を除き、地震前までの交通量程度にほぼ回復してきております。
- ・地震直後、日本海側道路網が太平洋側道路網の代替機能を発揮し、地震後3週目からは高速道路ネットワークの規制解除に伴い、東北道を中心に太平洋側道路網の利用が回復してきております。
- ・GW期間中は昨年より交通量が減少するなど大震災による影響がまだみられます。

東日本大震災発生2ヶ月での、東北管内の主要道路の交通量変化の特徴は以下の通りとなっています。

【特徴】

◆代表断面（新潟・関東境、県境等）での交通状況について

- 東北と新潟・関東境での断面交通量は、地震直後、地震前の交通量に比べ32%減少しましたが、東北道の交通規制が解除された地震後3週目から大幅に増加し、その後はほぼ横ばいで推移しています。【P. 1】

- 各県境部等では地震直後、大部分が交通量減少するなか日本海側の交通量が増加しましたが、東北道・磐越道の通行規制が解除された地震後3週目は、東北道の利用が増加するなど、道路ネットワークを活かした交通の流動が見受けられ、現在では国道6号、被災地周辺の国道45号を除くほぼ全域で交通量が回復傾向を示しています。

【P. 2】

◆GW期間中の主な観光地周辺での交通状況について

- GW期間中における主な観光地周辺の一般国道の交通量は、昨年と比べ6%の減少となっており、大震災の影響が交通量の面でも見られます。【P. 3】

◆三陸縦貫自動車道の交通状況について

- 仙台方面と被災地とを結ぶ三陸縦貫自動車道では、震災後減少した交通量は徐々に増加し、現在では震災前を上回る状態になっております。【P. 4】

- 三陸縦貫自動車道において、下り線（仙台→石巻）が午前中、上り線（石巻→仙台）では午後の特定時間帯に多くの交通が集中し混雑発生の要因となっています。被災地へ向かう災害復旧、復興等の支援車両に支障をきたす恐れがあるため、不要不急の車の利用は極力控えていただくか、時間に余裕を持って出発していただきますようお願いいたします。【P. 5】

（掲載箇所）

東北地方整備局HPトップページ (<http://www.thr.mlit.go.jp/>)

→東日本大震災関連情報パナー

→記者発表

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

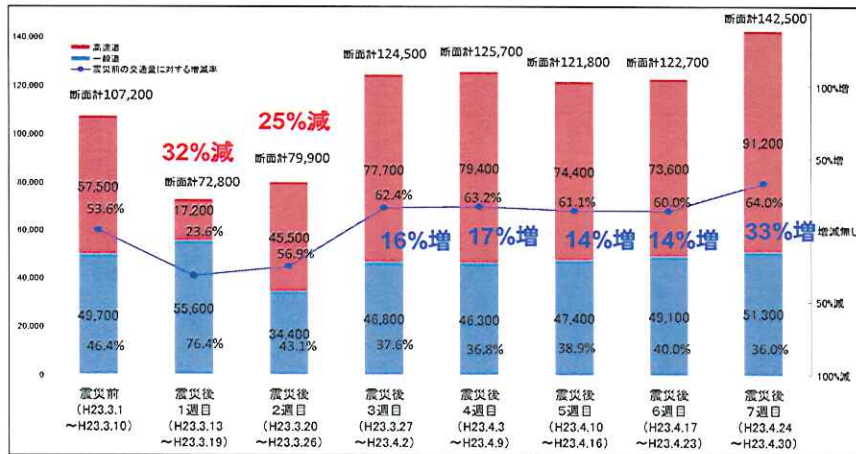
問い合わせ先 国土交通省東北地方整備局 TEL 022-225-2171 (代表)
道路部 道路計画第二課 課長 舟山 和重(内4251)
ふなやま かずしげ

東日本大震災による交通量の変化(震災発生から4月末までの状況)

◆東北と新潟・関東境の断面交通量(全車)

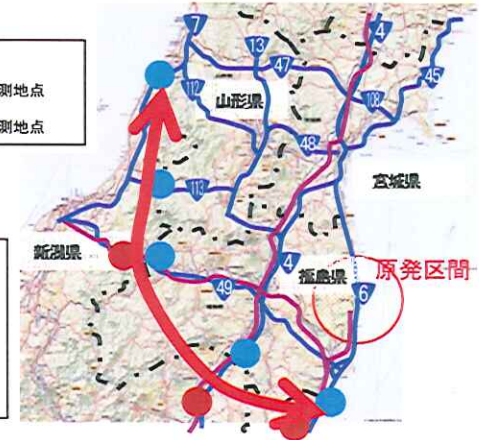
- 震災後1週目に32%減少した交通量は3週目に大幅増加し、その後は横ばい
- 震災後1週目に日本海側道路網が被災地道路の代替機能を発揮し、その後高速道路ネットワークの規制解除で太平洋側道路網の機能が回復

▼震災発生から4月末までの断面交通量推移(全車)

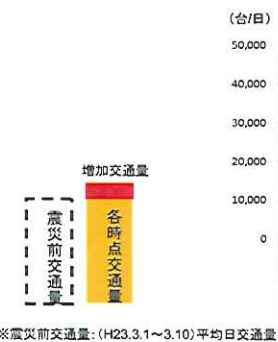


▼規制解除の状況

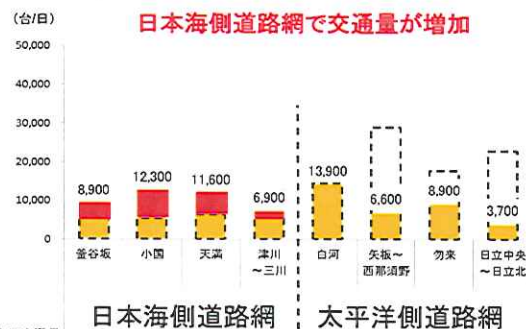
- 3/11 東日本大地震発生
高速道路：全面通行止
- 3/12 高速道路：仮復旧完了(緊急車両が順次通行可能)
- 3/18 東北整備局管内の直轄国道啓開作業概ね完了
- 3/21 常磐道(水IC~いわき中央IC)：一般車両通行可能
- 3/22 東北道(宇都宮IC~一関IC)：大型車両通行可能
- 3/24 東北道(全線)：一般車両通行可能
磐越道(いわきJCT~津川IC)：一般車両通行可能
- 4/1 常磐道(全線)：一般車両通行可能(原発規制区間除く)



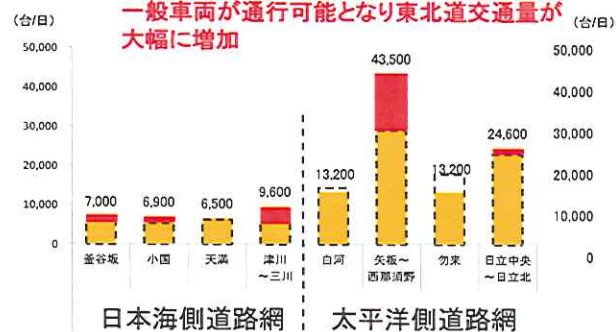
■交通分担状況



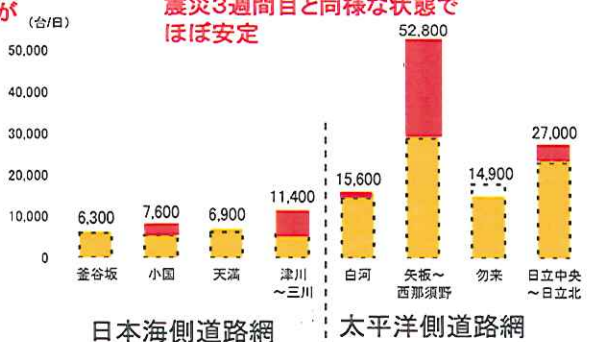
■震災1週間目平均日交通量 (3/13~3/19)



■震災3週間目平均日交通量 (3/27~4/2)



■4月末平均日交通量 (4/24~4/30)



東日本大震災による交通量の変化(震災発生から4月末までの状況)

◆代表断面(県境部等)の高速・直轄国道交通量(全車)

- 震災後1週目:日本海側ネットワーク(北陸周辺)で震災前を超過する交通が流動
- 震災後3週目:東北道を中心に内陸ネットワークまで震災前を超過する交通が流動
- 4月末(直近):国道6号、被災地周辺国道45号を除き回復傾向

▼震災1週目(3/13~3/19)の状況



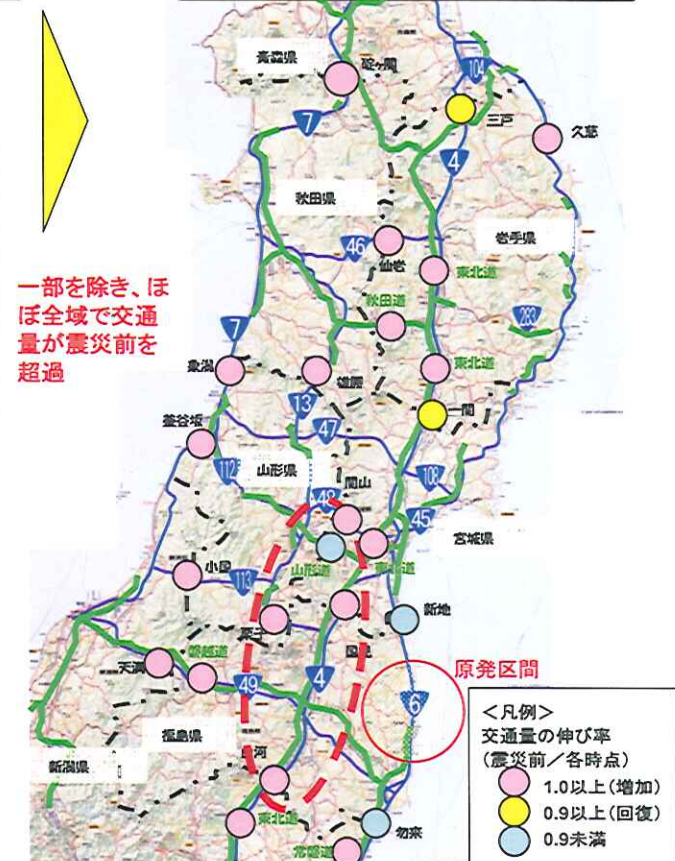
【道路の開通状況】
 ・3/13まで:高速道路 仮復旧完了
 直轄国道1次啓開 14/54箇所完了
 ・3/19まで:東北道(宇都宮IC~碓ヶ関IC)緊急車両のみ通行可
 直轄国道 1次啓開作業概ね完了(3/18)

▼震災3週目(3/27~4/2)の状況



【道路の開通状況】
 ・3/27まで:東北道、磐越道全線一般車両通行可能(3/24)
 ・3/27~4/1まで:常磐道(いわきJCT~富岡IC)緊急車両のみ通行可
 ・4/1:常磐道全線一般車両通行可(原発規制区間除く)

▼4月末(4/24~4/30)の状況



【道路の開通状況】
 ・震災前の開通状況まで回復(原発規制区間除く)

GW期間中の主な観光地周辺の一般国道の交通状況(昨年度との比較より)

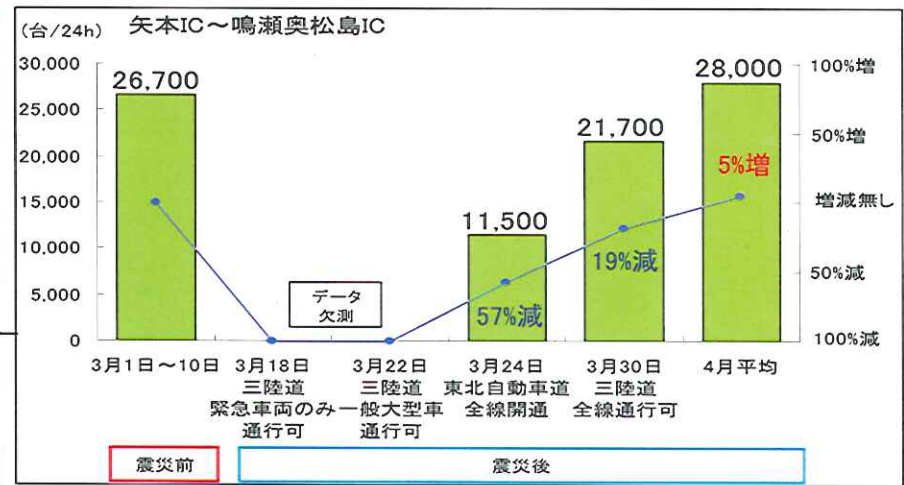
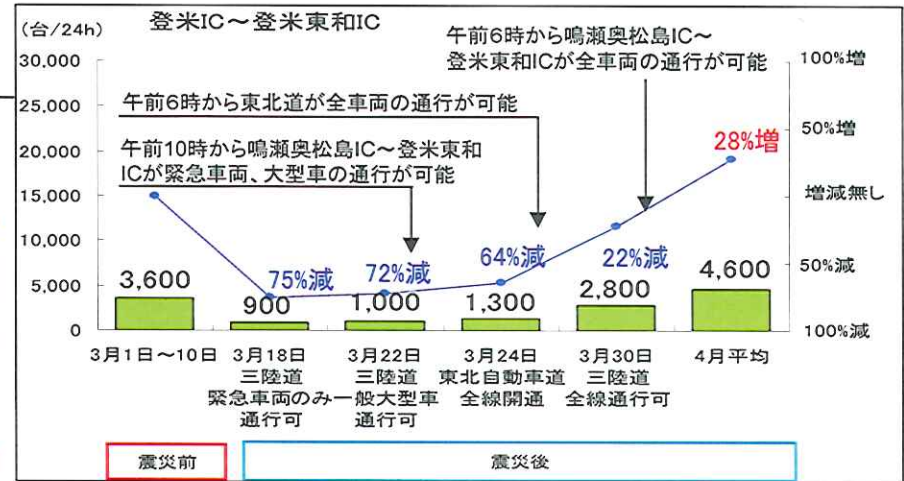
- 主な観光地周辺のGW期間中の交通量は昨年と比べ6%減少(全8箇所平均で0.94倍)
- 日本海側の鳥海山周辺では交通量が微増



※交通量はトラフィックカウンターによる計測値(速報値)である。
 ※集計対象データは今年がH23.4.28(木)~5月8日(日)、昨年はH22.4.29(木)~5月9日(日)の値を使用。

東日本大震災前後の交通量変化(三陸縦貫自動車道【宮城県内】)

○震災後減少した交通量は徐々に増加し、4月の平均交通量は**震災前を上回る状態に**
(矢本IC～鳴瀬奥松島IC間で**5%増**。登米IC～登米東和IC間では**28%増**。)



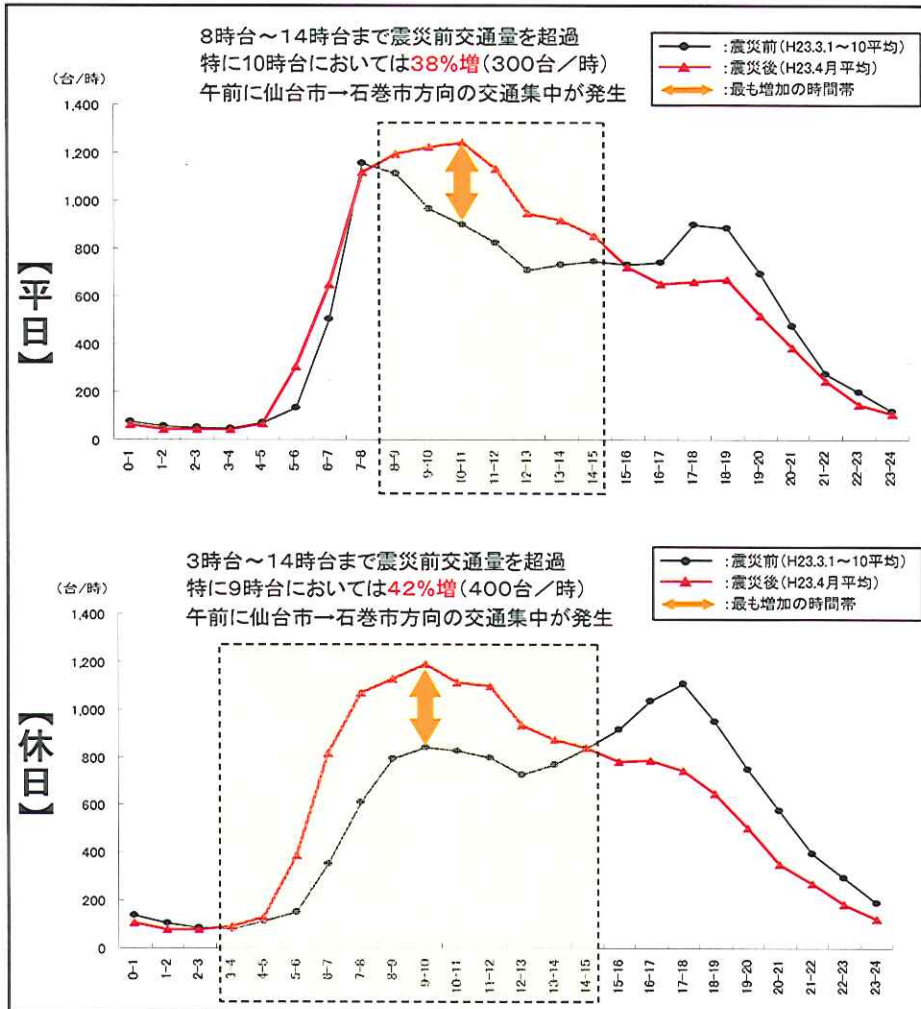
※交通量はトラフィックカウンターによる計測値(速報値)である。

<凡例>
■ 日交通量(3月1日～10日、4月平均の値は、日平均交通量)
— 震災前の日平均交通量に対する増減率

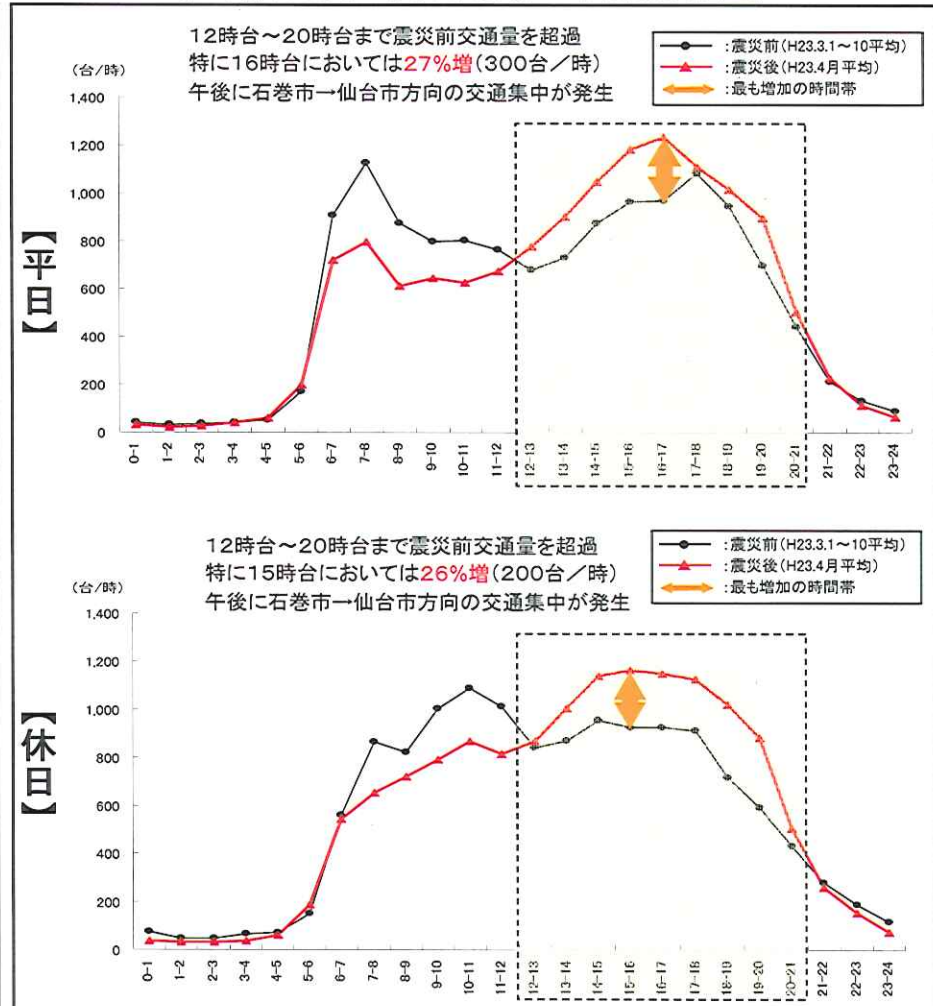
東日本大震災前後の交通量変化(三陸縦貫自動車道【鳴瀬奥松島IC～矢本IC】)

- 平日・休日ともに**特定時間帯に震災前を超過する量の交通が発生**
- 下り線は午前、上り線は午後に交通が集中**(朝:仙台→石巻、夕:石巻→仙台)
- 被災地への日帰り交通が増加しているものと推察

【下り線(仙台市→石巻市方向)の時間帯別交通量】



【上り線(石巻市→仙台市方向)の時間帯別交通量】



※交通量はトラフィックカウンターによる計測値(速報値)である。 ※震災前、震災後の交通量は時間帯別平均交通量である。